

Ⅲ. 調査結果のポイント

1. 経営状況

現在の経営状況は「変わらない」が52.0%で最も多い。景況DI（「良い」－「悪い」）をみると、兵庫県全体では、昨年度調査の△12.0%から今回は△10.3%と1.7ポイント好転している。業種別にみると製造業は4.5ポイント好転しているが、非製造業は2.5ポイント悪化している。

2. 経営方針

現在の主要事業は「現状維持」との回答が59.1%で最も多く、次いで「強化拡大」（35.7%）、「縮小」（3.6%）、「廃止」（0.9%）と続いており、昨年度調査と比べ大きな変化はみられない。

3. 経営上の障害（3項目以内の複数回答）

経営上の障害については、全体では「人材不足（質の不足）」が53.3%で最も多く、次いで「労働力不足（量の不足）」（33.3%）、「販売不振・受注の減少」（30.5%）、「原材料・仕入品の高騰」（29.6%）と続く。「原材料・仕入品の高騰」は昨年度調査の6位から4位へと順位をあげた。

4. 経営上の強み（3項目以内の複数回答）

経営上の強みについては、全体では「顧客への納品・サービスの速さ」（31.5%）が最も多く、以下「製品の品質・精度の高さ」（27.3%）、「製品・サービスの独自性」（25.7%）と続く。昨年度調査と比べ、上位2項目は変わらず、「製品・サービスの独自性」は5位から3位へと順位をあげた。

5. 従業員の労働時間について

週所定労働時間は「40時間」が48.7%で最も多く、次いで「38時間超40時間未満」（28.4%）、「38時間以下」（13.9%）、「40時間超44時間以下」（9.0%）と続き、昨年度調査と比べ大きな変化はない。

6. 従業員1人当たりの年次有給休暇の平均付与・取得日数・取得率

平均付与日数は全体で16.02日で、昨年より0.68日多く、全国平均より0.28日上回った。
平均取得日数は全体で8.37日で、昨年より0.05日多く、全国平均より0.73日上回った。
取得率は全体で53.77%で、昨年を2.15ポイント下回り、全国平均より2.61ポイント上回った。

7. 新規学卒者の採用について

平成30年3月の新規学卒者の採用または採用計画が「あった」事業所割合は23.4%で、昨年より1.9ポイント上回った。採用実績事業所数10件以上の種別で採用充足率が最も高いのは「大学卒：事務系」の86.7%、平均採用人数は「高校卒：技術系」「大学卒：技術系」がともに2.15人で最も多い。1人当たりの初任給（回答事業所数10件以上）は「大学卒：技術系」が205,000円で最も高い。

8. 長時間労働、同一労働同一賃金への対応について

長時間労働への対応は、「人員の増員・配置見直し」が37.8%で最も多く、次いで「時間外労働の是正・削減」（34.3%）、「業務内容見直し・業務分担見直し」（30.5%）と続いている。
同一労働同一賃金への対応では、「定期昇給の実施」が24.9%で最も多く、次いで「賞与の支給」（23.5%）、「手当の支給」（19.7%）と続く。

9. 有期労働契約に関する無期転換ルール等について

有期労働契約に関する無期転換ルールの認知状況は、全体で65.5%となっている。
無期転換ルールの対象者となる従業員が在籍する事業所は、全体で23.0%となっている。
無期転換ルールに基づく無期転換の申込みがあった事業所は、全体で16.2%となっている。

10. 賃金改定について

平成30年1月1日から7月1日の間での賃金改定の実施状況は「上げた（7月以降引上げる予定を含む）」事業所が63.1%（昨年度調査比2.2ポイント増）で、昨年度に引き続き増加傾向となっている。「上げた」事業所の改定後の平均所定内賃金は273,175円、引上げ額7,194円、引上げ率は2.70%となっている。